



緑内障について解説する  
講師の伊賀先生

4月13日、西宮市立福祉会館で西宮手話友

の会の部が主催し、「高齢者に多い目の病気」をテーマに健康と医療について語り合う会を開催。西宮・芦屋支部は講師派遣に協力し、西宮市・伊賀眼科クリニックの伊賀俊行先生が講師、大森公一先生（西宮市・大森内科医院）が開会のあいさつを行い、30人が参加した。参加者2人からの感想文を紹介する。

今回、医療講座を聞き、緑内障の怖さを知る事が出来ました。まだ自分には関係ないと思つていましたが、40歳以上で40人に一人、70歳以上では10人に一人が発症するとの事で、自分も無関係ではないと分かりました。発症しても全く自覚症状がなく気付きにくい上、治療しても回復は望めず現状維持しかできないので、早期発見が大事

との事で、自分が発症する事で、自分も無関係ではないと分かりました。発症しても全く自覚症状がなく気付きにくい上、治療しても回復は望めず現状維持しかできないので、早期発見が大事

緑内障について解説する  
講師の伊賀先生

## 緑内障は早期発見・早期治療が大切



非結核性抗酸菌症について谷向病院での症例を紹介する講師の谷向先生

西宮・芦屋支部は6月2日、西宮市・谷向病院で病診連携研究会を開催。「非結核性抗酸菌症（NTM）症の症例検討」をテーマに、谷向病院院長の谷向茂厚先生が講師を務め、医師ら27人が参加した。司会を務めた林田英隆先生（西宮市・林田クリニック）の感想文を紹介する。

## 実際の症例検討を交え、 非結核性抗酸菌症の概要について解説

# 病診連携研究会 西芦支部ニュース

No. 343  
2018・7・5

〒662-0832

発行 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部  
西宮市甲風園二一一五 法貴皮膚科内  
連絡先 兵庫県保険医協会 電話〇七八（三九三）一八〇三

## 世話人会だより

西宮・芦屋支部は6月22日（金）に西宮医療会館で世話人会を開催。3人が参加しました。

### 【報告】

- ①健康と医療について語り合う会（4・13）
- ②第35回漢方研究会（5・26）
- ③病診連携勉強会（6・2）
- ④介護報酬改定情勢勉強会（6・9）
- ⑤院内感染対策研修会 BBPコース第4回（6・16）

### 【予定・企画】

- ①第10回被災地物産・物品展（7・7）
- ②第38回支部総会記念市民公開講演会（7・28）
- ③リスクマネジメント研究会（9・8）
- ②Medical English #52

【手話友の会 竹村 美和】

\*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。  
支部についてのご意見や企画案などを  
お寄せください。

## 西宮・芦屋支部 第38回総会記念市民公開講演会 安斎育郎のビビッときた話 うたがう心・科学の眼

超常現象や靈はあるか? 科学とは? 平和とは?  
核兵器はなくせるの? 原発問題と放射能の影響をどう  
考える? などなど、マジックも披露しつつ好奇心あふれる  
話題とともに、騙しのカラクリを暴くジェネラリスト  
の安斎育郎先生に、爽快な社会批評もからめて、クリティカル・シンキング(批判的思考)の大切さをお話しいただきます。

多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

講師 安斎 育郎 さん  
立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長

とき 7月28日(土) 14時開場  
14時30分開演、16時30分終了予定

\*総会議事14時~  
ところ なでしこホール  
西宮市高松町5番39号 なでしこビル8F  
(阪急西宮北口駅より南へ徒歩1分)  
TEL0798-34-1662

入場無料、どなたでもご参加いただけます

お問い合わせは協会事務局 (TEL 078-393-1809) 岡林・山田・沖野まで



【ご略歴】1940年生まれ。立命館大学特命教授・名誉教授、立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長。専門は、放射線防護学、平和学。趣味は、マジック。『安斎育郎のやさしい放射能教室』『疑うこころ、科学する眼—安斎育郎のビビッときた話』など著書多数。

## 東日本大震災・熊本地震 第10回被災地交流/物産・物品展

東日本大震災と熊本地震被災地への支援と地域交流のため、岩手県宮古市の「かけあいの会」の物産品販売・展示会を開催いたします。みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひお気軽にご参加ください!

二胡の演奏会も開催します♪

13時~14時

奏者 劉揚さん



お問い合わせは協会事務局 (TEL 078-393-1809)  
山田・岡林・沖野まで

【物産品取扱例】わかめ、とろろ、昆布などの物産の他、ホタテ・蒸し牡蠣などの実演販売や宮古の塩サイダーも販売。また熊本県南阿蘇村の低農薬野菜、「三春彩花」の会津木綿を使った小物雑貨、岩手県藤沢「ちくちく工房」のバッグ、宮城県気仙沼の復興住宅から手作り手籠も販売します。



7月7日(土) 午前9時~午後3時

会場: 広川内科クリニック

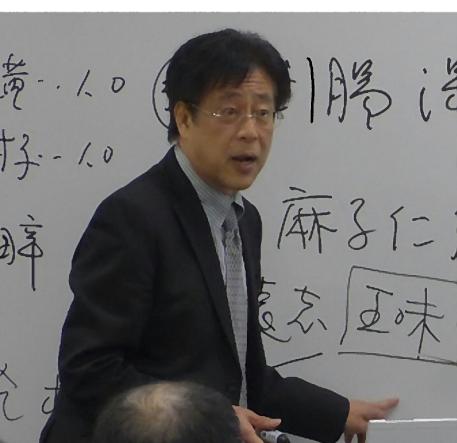
〒662-0845 西宮市神明町4-26

TEL. 0798-64-2707

・JR西宮駅より北へ徒歩約7分  
・阪急西宮北口駅より南西へ徒歩約12分



69人が参加し、呼吸器疾患への漢方について学んだ



図を用い、陰陽虚実のメカニズム  
などについて解説する劉先生

西宮・芦屋支部は5月26日、スペースアーレファ三宮で第35回漢方研究会を開催。「呼吸器疾患の漢方治療」・喘息・咳・痰などをテーマに、下関市・りゆう呼吸器科の劉震永先生が講師、広川恵一先生(西宮市・広川内科クリニック)と長光由紀先生(伊丹市・いたみアリオ薬局)が司会を務め、医師・薬剤師ら69人が参加した。参考者からの感想文を紹介する。

## 第35回漢方研究会 咳などに基づいて呼吸器疾患に対処する漢方説を古典に

ばならないことを学ばせていただきました。  
例えば肺陰虚の咳では、肺胃虚熱に麦門冬湯、肺腎陰虚に滋陰降火湯、肺肝陰虚に明らかに他の藏府経絡に對しての生薬が構成されたものになっています。汎用される麦門冬湯を例に上げますと、肺陰虚を補う為に麦門冬、肺の津液の源泉になっている胃中の津液を補う為に甘草、大棗、硬米が含まれています。また、胃をコントロールしている脾を補う為の人参は、脾は肺の母寺師睦宗先生から、ご自身の娘さんが当帰芍薬散を服用して咳が治ったことから、この条文の重要性を何度もお話し下さいました。

この度の劉震永先生のご講義では、肺の生理機能である宣發(肺氣の向上向外運動)と肅降(肺氣の向下向内運動)に障害が起きることで咳が生じることが基本であること。陰陽虛実を見究め、咳の原因が寒熱のどちらなのかを明確にして方剤を的確に選択しなけれ

る。横隔膜を貫いて肺に入り、咽喉に至つてから肺尖の前外方の傍から上腕へ、更に下つて母指爪甲根まで走行して氣血津液を輸府していることから、肺と胃は切り離せず、どちらの津液を同時に補うことにより肺陰虚を治す処方構成になっています。

このように劉先生は各処方において、これらの方を基にしたメカニズムを図を用いて分かりやすく解説され、処方決定には患者の訴える症状をはじめとして、舌、脈、腹証等の望聞問診の重要性を説かれていました。あれほど漢方を判りやすく古典に基づいた解説ができる先生は全国レベルでも稀有だと思いません。是非、また神戸にて先生のご講義を拝聴させていただけることを楽しみにして

【明愛薬局・神明鍼灸院 板倉 弘明】